

各 位

上場会社名	株式会社 シーマ
代表者	代表取締役社長 白石 幸栄
(コード番号	7638)
問合せ先責任者	執行役員 総務部長 松橋 英一
(TEL	03-3567-8098)

平成24年3月期 業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成23年5月10日付当社「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の連結業績予想および、期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,122	526	502	222	1.21
今回修正予想(B)	10,050	△305	△315	△308	△1.68
増減額(B-A)	△1,071	△831	△818	△531	
増減率(%)	△9.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	11,118	491	487	183	1.00

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

修正の理由

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの立て直しや政府の各種政策効果などを受け、輸出・生産において一時上向きの動きが見られましたが、長期化する円高に加え、11月まで続いたタイの洪水などの影響により、大企業製造業での業況判断が低下するなど、国内景気は依然として厳しい状況が続きました。

このような経済状況のもと、ブライダルジュエリー市場では、景気悪化による影響を受け、購入単価の下落傾向が続きました。

当社の主力であるブライダル事業(銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド、ホワイトベルの3ブランド等)は、個人消費の低迷に加え、企業間競争が一層激化するなど、厳しい経営環境下での営業となり、業績に大きく影響する結果となりました。

従いまして、当第3四半期連結累計期間の販売実績をもとに通期計画を見直したところ、売上高が期初予想を下回り、営業利益、経常利益、当期純利益が期初計画を大幅に下回ることが予想されるため、平成23年5月10日付で公表した平成24年3月期 通期連結業績予想との間に乖離が生じる可能性があることから、業績予想を修正するものです。

売上高、ならびに営業利益、経常利益および当期純利益が業績予想の修正に至った主な要因は、以下のとおりです。

<売上高>

当第3四半期連結会計期間において、当社は、第2四半期連結累計期間の業績を挽回すべく、引き続き顧客満足度向上を念頭に販売サービスの向上に努め、積極的に営業活動に取り組みました。

当社の主力商品である婚約指輪の需要が減少してきていることなどから、商品構成の見直しや、ブランド力の強化などに全社一丸となって取り組みました。

集客面においては、誌面広告による媒体効果低下の対策として、全国の提携先企業からの送客による集客活動の強化、広告誌面の改善、各地域の状況を踏まえた集客効果のある媒体の厳選など、ブランド認知度をさらに向上させるための施策にも取り組みました。

しかしながら、想定した集客結果が得られず、当第3四半期連結累計期間の売上が、71億72百万円(前年同四半期比15.8%減)と想定を下回る見込みとなったため、通期連結売上高は、期初計画9.6%減の100億50百万円となる見込みです。

なお、四半期別の連結売上高は、第1四半期が21億77百万円(前年同四半期比16.0%減)、第2四半期25億19百万円(同18.7%減)、第3四半期が24億74百万円(同12.5%減)となりました。

<営業利益、経常利益および当期純利益>

当社は、売上増のための施策を実施するとともに、経費削減の徹底、業務改善の推進に引き続き全社で取り組みました。

しかしながら、前述のとおり、想定した集客結果が得られず売上が伸び悩んだため、利益を捻出することができませんでした。

これにより、通期(連結)における営業利益、経常利益、ならびに当期純利益は、営業損失3億5百万円(前期は、営業利益4億91百万円)、経常損失3億15百万円(前期は、経常利益4億87百万円)、ならびに当期純損失3億8百万円(前期は、当期純利益1億83百万円)と大幅に下回る見込みとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年5月10日発表)	—	0.00	—	1.00	1.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	0.00	—	1.00	1.00

修正の理由

当社は、将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を最優先し、株主利益および企業価値の最大化に努めることを基本方針としています。

また、株主還元については、企業価値向上による株価上昇と配当金によって総合的に実現しています。配当金は、純利益だけでなく、内部留保も含めた資本効率を勘案して決定しています。

当期においては、期初の業績計画にもとづき、1株あたり1円の配当を予想していましたが、前述のとおり、当社を取り巻く経営環境の急速な悪化に伴い、平成24年3月期通期の業績予想の修正を余儀なくされたことから、期末配当を無配とする判断をしました。

当社は、このような状況への対応を重要な経営課題として真摯に受け止め、安定配当を継続的に行えるよう早期の業績回復に努めてまいります。

(注) 平成24年3月期 第3四半期決算短信は、平成24年2月10日(金)に発表する予定です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものです。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって、予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上